



# 目次

## 第一章

### 目に見える世界のこと 15

はじめに	2
まえがき	5

何を手に入れたら幸せか	16
自分が自分を縛っている、常識を捨てる	20
欲張りに生きていい、いい子を捨てる	28
目に見える世界⇄脳が認識できる世界	33
自分を深く知る	41



## 第二章 目に見えない世界のこと 45

この世のほとんどすべてが目に見えない世界	46
人間という生き物について、想像と創造	50
量子力学について	55
引き寄せの法則について	61

## 第三章 目に見えない世界で『幸せの土台』をつくる 69

あらゆる感情を感じ切る	70
陰と陽、光と影、両極セットで赦し受け入れる	78
どんな自分をもそのまま愛す	82
心と健康、病気は局所的な全体病	89
ともかくにも人間関係、自分との関係、近い人たちとの関係	96



## 第四章

### 目に見える世界で『幸せの土台』を恋愛に活かす

111

ウキウキすることをしましょう

.....

102

恋愛したいのか、結婚したいのかで対象が違う

.....

112

追いかけさせる、男女は平等ではない〜出会いから告白まで〜

.....

117

追いかけさせる、男女は平等ではない〜プロポーズと結婚〜

.....

123

相手は自分の写し鏡

.....

129

男性性と女性性を知る

.....

133

傷つけること、傷つけられること

.....

136

男性が選ぶのは、ひとりでも幸せな女性

.....

141

最後は相手を条件ではなく直感で選ぶ

.....

146



## 第五章

# 目に見える世界で『幸せの土台』を仕事やお金に活かす

151

仕事やお金に関係なく、すべての人に価値がある

仕事のスタイルは人それぞれ

男は戦う、女は溢れるという働き方

幸せを最終的な目的にしない。

資格、制度、社会の仕組みと仲良くなつてジリ貧を回避

お金が欲しい理由と宇宙貯金

172 169 165 161 157 152

あとがき  
176

